



憲法は生きているか？

施行70年を迎え、憲法の現状を見つめ、憲法の意義を考える。

憲法施行70年を記念して、連続講座を企画しました。

今一度、憲法が私たちの生活にどのような役割を果たしているのか、考えたいと思います。

24条

なぜ24条が狙われるのか ～両性の本質的平等と9条との 密接な関係について～

入場無料・
予約不要

9条に比べ、24条は憲法改正の議論の中で注目度が低い。しかし、改憲を求める動きは、長年にわたって24条を主要なターゲットとしてきた。個人の尊厳を中核とする現行憲法の基本的な考え方が家族のあり方についても貫かれることを示した24条は、個人主義を拒否し、家族・地域社会・国家という「公共」へ忠誠心を駆り立てたいと考える人たちにとって、見直さなければならない規定だからである。9条を改めるだけでは、戦争は出来ない。24条の意義と改憲をめぐる動きについて改めて考えてみたい。

講師

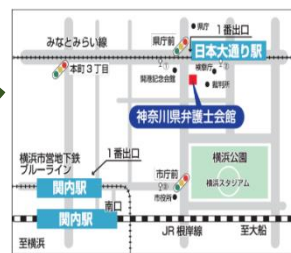
打越 さく良 弁護士

11月28日(火)6時30分～

開場 6時10分

会場 神奈川県弁護士会館5階

横浜市中区日本大通9番地



次回以降のお知らせ

問合せ先 神奈川県弁護士会 TEL 045-211-7705 平日9:00～17:00

2018年1月25日(木) 子どもの貧困 人間らしく生きるために
講師 阿部 彩 さん (首都大学東京教授)

13条・25条

2018年3月27日(火) ふるさとを奪われて 原発被害(仮題)

13条

講師 伊藤 真 弁護士